

周りを巻き込み関係人口を増やして地域を活性化

一般社団法人
昭島観光まちづくり協会
事務局長

ほりい まりこ
堀井 真理子 氏(高校35期)

出身 東京都昭島市
1983年 立川高校卒業
1987年 慶応義塾大学文学部卒業
1987年 大正海上火災保険(現三井住友海上火災保険)株式会社入社
その後 自営手伝い、行政書士事務所、弁護士事務所の勤務を経て
2013年 一般社団法人昭島観光まちづくり協会 勤務 (現在に至る)



■立高時代

中学時代の先輩に誘われて、中学の時と同じ卓球部に入りました。当時はあまり体力がありませんでしたが、朝、昼、放課後の練習や夏合宿で鍛えられたおかげで、人並みの体力がつけました。新入生歓迎会で見た応援団の技見せにすっかり魅了されて、迷うことなく応援団にも入り、体育祭を思い切り楽しむことができました。できるかできないか、やれるかやれないかは別として、何ごとにも全力で取り組むという姿勢は立高時代に身に付いたと思います。

■立高卒業後～現在

大学では心理学を学んでみたいと思い、慶應義塾大学文学部に進んで心理学を専攻しました。大学3年の時車を運転中に交通事故を起こしてしまい、損害保険会社の方に大変お世話になったことがきっかけとなり、大学卒業後は損害保険会社に就職しました。

約10年勤務した後、出産を機に退職。育児中は横浜で自営業の手伝い、行政書士事務所や弁護士事務所での勤務などで社会と関わりを持ちつつ再就職を目指し、小中学校時代を過ごした昭島市に居住したことをきっかけに、現在の職場に就職しました。

観光協会といっても、地域によってやっていることはさまざまで、都内の観光協会ではインバウンドがメインですが、これといった観光名所がない地域の観光協会は主に地域を元気にする事業に取り組んでいます。私が勤務している観光協会は後者で、これまでは地域を活性化する事業を行ってきました。近年は、地域の事業者の方はもちろんのこと大学のゼミやプロボノ人材の力を活用して、シティプロモーションやブランディングの事業を始めています。

観光業は、地域を活性化するという目的に沿っていれば、ソフト面で何でも企画し実施できて、様々な業種の方と関われるので、とても面白い業種だと思います。

■立高生へのメッセージ

私たち35期では、4年に一度の同期会はもとより、ゴルフ大会、有志合唱団など、高校時代とは違った新たな交流の場が生まれています。私が参加している有志合唱団は2016年から活動を始め、全員が還暦となっている2025年3月30日に、初の単独コンサートとなる「かんれきコンサート」を開催しました。50代そして60代になっても、仲間と一緒に目標に向かって本気で向き合えるものがあるのは、本当に有り難いことだと思っています。

高校時代は部活でも行事でも趣味でも、自分が夢中になれることに全力投球で取り組んでください。全力でやった時のもがいて苦しんで悩んだ経験は、その後の人生の糧になります。やりたいと思ったこと、自分にまわってきた役どころに、まずはチャレンジしてみてください。



かんれきコンサート (2025年3月30日)

撮影: Atsushi Yamaguchi